

# 北図書館だより7月号 ほうれんそう

<https://www.amagasaki-library.jp/>



令和2年(2020)第431号

尼崎市立北図書館  
尼崎市南武庫之荘3-21-21  
TEL (06) 6438-7322  
FAX (06) 6438-7344

## 《新・尼崎の本棚 77》

### 泥つき地蔵

守部・素盞鳴(すさのお)神社(南武庫之荘8丁目)の南参道入口に地蔵堂があり、中には泥つき地蔵と呼ばれるお地蔵様が安置されています。その由来は伝承によるものから来ています。

「昔、武庫村にお百姓のおばあさんがおり、村にあるお地蔵様を大切に世話していた。ある年の田植えの時期、病気で寝込んでしまったおばあさんは、自分の田んぼのことが心配でたまらなかった。しかし、翌朝田んぼを見に行くと苗が植わっている。お地蔵様にお参りに行くとその足に泥が付いているではないか。おばあさんはお地蔵様が代わりに田植えをしてくれたことに気づき、足を洗いお礼を言った。それ以来このお地蔵様を泥つき地蔵と呼ぶようになった。」

このお地蔵様は阪急線が敷設されるまでは武庫川土手にありましたが、沿線の盛り土として土手を崩す際、現在の場所に移されました。お堂の左手に石のお地蔵様、中央に祀られているのは江戸時代以降に作られた張り子像のお地蔵様だそうです。お堂は普段扉が閉められており直接見ることはできません。年に一回、8月24日の地蔵盆には華やかに飾られ御開帳されます。(今年度開催は現在未定です)

(参考:『尼崎百物語』大江篤/編 神戸新聞総合出版センター/発行  
『武庫地域・散策ガイドブック』ふるさとを知る会/編集発行)

### ◆お地蔵様あれこれ

お地蔵様は平安時代より盛んに信仰され、今日まで私たちの日常に身近な神様となっています。お地蔵様は主に右手に錫杖(しゃくじょう)、左手に宝珠を持った出家僧をかたどった像がほとんどで、子どもを守護する仏として多く崇拝されています。子どもの健康や幸せを願って行われる地蔵盆は、近畿地方を中心としたお祭りのようです。

お地蔵様に関する言い伝えや民話は全国に沢山存在しており農民の苦しい日常に救いがある話が多く、当時の生活の苦勞が垣間見えます。「かさじぞう」では六人のお地蔵様が恩返しに来ますが、これは六道の世界を救済する六地蔵をモデルにしたお話で、墓地の入口などによく並んでいます。尼崎市内の図書館にはお地蔵様に関する昔話や、全国の民話載っている本を所蔵しています。興味のある方はぜひ手に取ってみてください。

(参考:『民間信仰辞典』桜井徳太郎/編 東京堂出版 『京のお地蔵さん』竹村俊則/著 京都新聞出版社)

**●「お地蔵様」についてならこんな本●**

『地蔵のこころ日本人のちから』玄侑宗久/著 佼成出版社 211960849  
『観音・地蔵・不動』速水侑/著 吉川弘文館 212141928  
『尼崎の民話』三好美佐子/著 甲南出版社 220840301

<図書館の休館日> ■印の日はお休みです

7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
⑤	6	7	8	9	10	11	②	③	4	5	6	7	8
⑫	13	14	15	16	17	18	⑨	⑩	11	12	13	14	15
⑰	20	21	22	⑳	㉑	25	⑬	17	18	19	20	21	22
⑳	27	28	29	30	31		⑳	24	25	26	27	28	29
							⑳	31					



7月:文月(ふみづき)  
食べ物:スイカ、トマト、エンドウ、アユ、スモモ  
植物:アサガオ、ツキミノウ、ヒヤクニチソウ、サルビア、ハス  
季語:大暑、白南風、短夜、雲の峰、蟬時雨、青田

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)

7月の図書館行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止します。

北図書館でおはなし会を行っている  
**ボランティアグループ「ひまわりの会」**についてご紹介します。

昭和54年(1979年)の北図書館開館から40年以上、毎週土曜日に行われる  
おはなし会や、小学校への「おはなし配達」などの活動を通して、  
尼崎の子どもたちへ、おはなしや読み聞かせの楽しさを届けています。

ほうれんそう4p目に、ひまわりの会が選んだおすすめ本のリストを掲載しています。  
またおはなし室の前でも、リストの配布と本の特集をしています。  
おもしろい本や楽しいおはなしに出会えるきっかけになれば、幸いです。



## 絵本の世界に迷いこもう！ ～巨大めいろ 2020～

絵本クイズを解いて、ゴールを目指そう！

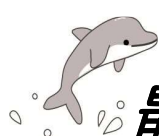
【日時】8月1日(土)、2日(日)、4日(火)  
13時～15時／受付は14時45分まで

【場所】北図書館 3階集会室

【対象】子どもとその保護者

申込は要りません。ぜひ遊びに来てね！

※感染症対策のため、マスクの着用にご協力ください。  
発熱などの症状が見られる場合は参加をご遠慮ください。  
会場の混雑時には入場制限をかける場合があります。  
換気、消毒液の設置を予定しております。



## 7・8月は 最終木曜日も開館します

みなさまのご来館をお待ちしています！



## <7月展示のご案内>

一般室展示	気軽に経済!	児童季節の展示	夏
ロビー展示	自分らしさって何だろう? いろいろな生き方に ついて考えてみよう!	児童ミニ展示	あおいろみずいろえほん
二階展示	なかなか人目に触れない 参考図書だって、自分の 話を聞いてほしいそうです	児童よみもの展示	日本の伝統文化
		児童えほん展示	MOE絵本屋さん大賞
		児童 可愛い本特集	

※イベントが中止になった分、企画展示を強化中!

## 人を読む こでまり 小手鞠るい

1956年～岡山県生まれ。同志社大学法学部卒業。『ある晴れた夏の朝』で小学館児童出版文化賞受賞。『欲しいのは、あなただけ』で島清恋愛文学賞、『ルウとリンデン旅とおるすばん』でポローニャ国際児童図書賞受賞。

### 『アップルソング』

小手鞠 るい[著]/ポプラ社

“私の手のひらのなかに、一枚の写真がある”それはあの日、私を助けてくれた女性の写真だった。テロ事件で行方不明になった恩人・鳥飼茉莉江の足跡をたどり、写真家であった彼女を知る人々を訪ねる美和子。美和子が見つけた一人の写真家の情熱と信念とは……。

### 『優しいライオンやなせたかし先生からの贈り物』

小手鞠 るい[著]/講談社

書いたものを誰かに褒められて「嬉しい」と思う気持ち、書く喜びに支えられ執筆を続ける著者。敬愛してやまない師である、やなせたかし氏の業績や人柄についてだけでなく、詩作や長年にわたる交流・やなせ氏との思い出や素顔の魅力を綴った書き下ろし作品。

### 『空から森が降ってくる』

小手鞠 るい[著]/平凡社

ウッドストックの森に住まう著者が日々の暮らし、リスやクマといった動物たちとのふれあいや自生する植物などの身近な話題から、作品のこと、旅先の出来事を語るエッセイ。森の恵みに支えられた暮らしの中で、森の美しい部分だけでなく、厳しさ・容赦のなさもそのままに描く。

### 『はじめてのもり』

小手鞠 るい[作]・たかす かずみ[絵]  
/金の星社

森に春がやってきました。冬眠から目ざめたくまの親子は森へいきます。新しく生まれた弟のくまは、みずあび・きのぼり・さかなとりなど、何もかもがはじめて。森でおかあさんとおにいさんといっしょに春・夏・秋を過ごします。【3～5歳から】

十代の頃から詩を愛読し、文芸クラブに所属する。そこで「書く喜び」を知り、やなせたかし氏が編集を務める『詩とメルヘン』と出会う。当時は本名の川滝かおりで詩を投稿、詩人として活動していたが、1993年『おとぎ話』で海燕新人文学賞を受賞、小説家・小手鞠るいとしてこれまでに多くの作品を執筆している。

# おはなし室からのおすすめ本 7月

紹介文：ボランティアグループ「ひまわりの会」



## おひざのうえ

### はなびドーン

カズコ・G・ストーン さく

童心社

おうちで小さな花火大会はいかがですか？シューッ、ドーン。繰り返される楽しいひびき、きれいな絵。ぜひ、おひざの上で大きな声で読んであげてください。

### うみのおふろやさん

とよたかずひこ さく・え

ひさかたチャイルド

ほかほかおふろシリーズ。ざぶーん。広い海にお風呂が。魚たちは大喜びでお風呂びよりを楽しんでますよ。



## ちいさいしと

### いらっしゃい

せなけいこ さく・え

童心社

「いらっしゃい、いらっしゃい」げんきなこえがきこえてきたよ。なにをうっているおみせかな？さあ、みんなですべてかけてみよう！

### かわにくまがおっこちた

リチャード・T・モリス著

岩崎書店

レウィン・ファム 絵 木坂涼 訳

くまが川におちたよ！どんだんながれていくよ！ワクワクドキドキくまとぼうけんしてみよう。



## おおきしと

### ワニくんのおおきなあし

みやざきひろかず さく・え

BL出版

大きな足のせいでイヤな事ばかり。

でもある時、大きいって悪いことばかりじゃないと気がついて。

### やきいもとおにぎり

みやにしつたつや さく・え

すずき出版

おにぎりがおおかみくんに？ぶたくんがやきいもに？おはなしが楽しい伝言ゲームになっています。



## おすすめ 科学読み物



## 3さいくらいまで

### 10ぱんだ

岩合日出子ぶん 岩合光昭しゃしん 福音館書店

ページをめくるたびにパンダが1頭ずつ増えていきます。可愛いパンダがいっぱいの絵本です。

### かんかんかん

のむらさやか文 塩田正幸写真

福音館書店

ここは不思議なすみきり。かんかんかんと言がするいろいろな列車が通ります。電車好きな子どもへ。



## 4さいくらいから

### およぐ

なかのひろたか さく

福音館書店

どうしておよげるかって？それは体が水に浮くから。泳げるようになっていく過程を一緒にたのしもう！

### せみのこえ

槐 真史ぶん かわしまはるこ 絵

福音館書店

夏といえば「せみ」。いろいろな日本のせみの声の絵本です。絵本を見て公園などに出かけてみませんか。